

2018 年度事業報告

2019 年 3 月 31 日
特定非営利活動法人
市民 ZOO ネットワーク

1. 環境エンリッチメント推進事業

●エンリッチメント大賞

第 17 回エンリッチメント大賞の企画運営を実施した。実施経過は以下のとおり。

- ・後援：(公社) 日本動物園水族館協会
- ・募集期間：2018 年 5 月 1 日～5 月 31 日
- ・応募結果：応募総数 32 通 (22 件の取り組みに対し)
- ・審査方法：下記 5 名の有識者による審査委員会を構成した。書面による一次審査を通過した受賞候補に対して、事務局による現地調査をおこなったうえで、審査委員会を開催 (8 月 30 日) して二次審査をおこない受賞者を決定した。
- ・審査委員会：岩田 恵里 氏 (岡山理科大学 教授)
川端 裕人 氏 (作家)
幸島 司郎 氏 (京都大学野生動物研究センター教授)
佐藤 衆介 氏 (帝京科学大学 教授)
本田 公夫 氏 (Wildlife Conservation Society 展示グラフィックアーツ部門
スタジオマネージャー) ※五十音順
- ・審査結果：3 件
 - ▼大賞：生息環境を再現した展示施設が引き出したユーラシアカワウソの哺育行動 (環境水族館アクアマリンふくしま)
 - ▼奨励賞：小さなエンリッチメントを伝えて大きな力に (池田動物園)
 - ▼グッドアイデア賞：チュウサギのための水流給餌水槽 (飯田市立動物園)

●エンリッチメントに係るコンサルティング

2017 年度は特に実施しなかった。

●エンリッチメントに係る調査研究、情報提供

2017 年度は特に実施しなかった。

●エンリッチメント大賞 2018 表彰式・受賞者講演会

「エンリッチメント大賞 2018 表彰式・受賞者講演会」を実施した。詳細は以下のとおり。

- ・日時：2018 年 12 月 1 日 (土) 13:30～17:00
- ・会場：東京大学弥生講堂一条ホール (東京都文京区)

- ・主催：NPO 法人 市民 ZOO ネットワーク
エンリッチメント大賞 2018 表彰式・受賞者講演会 実行委員会
- ・プログラム
 - －開会挨拶：川端裕人氏（作家・エンリッチメント大賞審査委員）
 - －表彰式
 - －審査委員講評：審査委員の先生方より、今年のエンリッチメント大賞に対する講評
 - －基調講演：佐藤衆介氏（帝京科学大学 教授）
 - －受賞者記念講演：環境水族館アクアマリンふくしま、池田動物園、飯田市立動物園
- ・特別企画など
 - 一次審査を通過した取り組みについてのポスター発表、各種団体からのブース出展、来場者参加型の写真展、チャリティ・オークション
- ・受賞記念パーティー：講演会終了後に同会場で開催
※実行委員会について：エンリッチメント大賞スタッフグループを中心に実行委員を務めたほか、当日ボランティアなども募り、約 30 名で実行委員会を組織した。

2. 動物園等に関する調査研究事業

●動物園等に関する調査・研究

動物園関連情報の収集・公開や情報提供をおこなった。

- ・動物園関係書籍、パンフレット、会誌、論文等各種の資料を収集
- ・WEB サイトや Facebook での動物園や研究会情報等の提供

●動物園等に係る各種協力・助言

2018 年度は特に実施しなかった。

●各種団体との連携

動物園関係のイベントや研究会・出版その他の情報について、広報協力等による連携をおこなった。

3. 動物園等に関する普及啓発事業

●セミナー、勉強会、ワークショップ

市民 ZOO ネットワーク主催のセミナーを「クロストーク」として以下のとおり開催した。

- 1) 市民 ZOO クロストーク 6th 「地域社会と市民と動物園 ～大牟田市動物園が切り開いた可能性～」
 - ・2018 年 6 月 9 日（土）、日本大学歯学部 3 号館第 7 講堂にて開催
 - ・ゲスト：椎原春一さん（大牟田市動物園園長）
下村友維子さん（帝京科学大学非常勤講師）
- 2) 市民 ZOO クロストーク 7th in 大阪「これからの動物園のありかた」
 - ・2019 年 3 月 2 日（土）、Gallery Cafe *Kirin*（大阪市）にて開催（Kirin との共催）
 - ・ゲスト：牧慎一郎さん（大阪市天王寺動物園園長）

佐渡友陽一さん（帝京科学大学講師、市民 ZOO ネットワーク代表理事）

●情報発信

1) ニュースレター

- ・ニュースレターを 2 回（第 45 号、46 号）発行した。
- ・第 45 号発行（2018 年 4 月）（特集その 1：エンリッチメント大賞 2017 表彰式・受賞者講演会開催報告、その 2：藪内竜太さん×さとうあきらさん対談 生き物に興味を持つきっかけになれば！）
- ・第 46 号発行（2018 年 11 月）（特集その 1：エンリッチメント大賞 2018 発表、その 2：下村友維子 地域社会と市民と動物園）
- ・以上を市民 ZOO ネットワーク正会員およびサポーター（正会員 20 名、サポーター196 名）、全国の主要な動物園・水族館（約 170 園館）、その他関係者に送付した。

2) メールニュース

- ・電子メール版を月 1 回配信した

3) WEB サイト／Facebook ページ

- ・トピックス、動物園関連研究会情報など随時更新し、情報提供をおこなった。

4) 取材対応等

動物園等に係る取材に対応した。

5) 著作物等

2018 年度は特に実施しなかった。

●講演

2018 年度は特に実施しなかった。

4. 人材育成事業

動物園等に関心を有する学生等に対して、適宜情報提供等をおこなった。